

発行 社会福祉法人愛護会
愛護会地域福祉推進協議会
責任者 及川紀美子（法人理事長）
奥州市水沢区羽田町字水無沢 491
TEL 0197-25-3732
FAX 0197-25-6662

愛護の友

平成27年度 第2号

—信条—
たった一人しかない自分を
たった一度しかない人生を
本当に生きかえりながら
人間生きた甲斐がなほなほ、
(山本有三著「路傍の石」の一節)

平成27年度愛護会地域福祉推進協議会の活動

愛護会地域福祉推進協議会は、水沢区・江刺区・前沢区・胆沢区・衣川区・金ヶ崎町に支部を置き、愛護会が保育事業・障がい者援護事業・障がい者地域生活援助事業、長寿福祉事業で培った経験と専門性を地域に還元し、地域づくりに貢献する事を目的として活動しています。

【平成27～28年度役員】

顧問 新居田 弘文 (敬称略)

菊地 喜久男

佐々木 努

高野 繁喜

油井 明

会長

副会長(支部長)

千葉 雄一 (水沢区)

菊池 和明 (江刺区)

岩淵 修 (前沢区)

佐々木 與市 (胆沢区)

佐藤 紳夫 (衣川区)

富家 富士子 (金ヶ崎町)

伊藤 智之

高野 徹 高橋 絹子

羽田 つゆ美 佐藤 克宏

千田 寿人 岩淵 守

佐々木 信雄 佐藤 泉

高橋 篤 阿部 京子

※これまで副会長(支部長)を務めていた佐々木 努氏を後継として、佐々木 健夫氏(衣川区)が平成26年度末をもって勇退なさりました。長期にわたり愛護会地域福祉推進協議会のために御尽力をいただきました。ありがとうございます。

愛護会地域福祉推進協議会 定期総会



定期総会：油井明会長の挨拶



講演会：笹原留似子氏

平成27年6月28日に、江刺区総合コミュニティセンターに於いて、愛護会地域福祉推進協議会定期総会・講演会が開催されました。当日は二部構成で、定期総会の部、講演会の部それぞれ多くのご来場をいただきました。

【定期総会の部】

奥州市長様、金ヶ崎町長様、岩手県協議会議員様を始め多くのご来賓の皆様や、会員、地域の皆様のご出席をいただき、前年度の活動報告・決算、新年度の活動計画・予算、新年度役員などが協議され承認されました。各支部とも、年度計画に沿って、支部独自の活動を進めております。

【講演会の部】

講演会の部は、愛護会立愛育研究所との共催で、笹原留似子氏をお迎えして「いのちかがやかせてく生と死の境目に存在すること」と題したご講演をいただきました。(入場無料) 笹原留似子氏は、おまかせ復元師として活躍しながら、自身の経験をもとにした著書も多数刊行しておられます。また、東日本大震災では、300人以上の遺体を、遺族に寄り添いながら生前の状態に戻した復元ボランティアの活動の様子が、NHKのドキュメンタリー番組として放送され、全国から大きな反響を受けました。

講演では、ボランティアを行った中で喜びや悲しみ、人と人との繋がりや地域の繋がりの大切さと素晴らしさなど、数多くの実体験を交えてやさしく語りかけていただきました。「死は生きていたからこそ存在する。死の意味を考えることは、生きてきた意味を考えることによる。」と結び、会場につめかけた会員や地域の皆様から惜しみない拍手が贈られました。

愛護会地域福祉推進協議会 水沢区支部活動



講師 佐々木健夫氏

水沢区支部の皆さん

水沢区支部の平成27年度活動計画のひととつである「福祉サービスにおける質の確保のための研修会の実施」という事で、平成27年6月15日に、障害者総合相談センターの佐々木健夫氏を迎え、「虐待防止の基本を学ぶ」と題した講演をいただきました。参加した会員の皆さんは、基本を再確認することで更なる虐待防止を誓い合いました。水沢区支部では他にも「高齢化に伴う福祉課題の調査・研究」「地域ボランティア実施に向けた調査・研究」及び体制づくりの推進などを活動計画に掲げて活動しています。具体的な活動実績としては、前述の研修会の他に、地域の皆様との花植え活動参加や、地域密着型特別養護老人ホーム愛護苑への花苗提供と交流活動などを実施しました。今後、地域のニーズに応じた活動を進めます。

愛護会地域福祉推進協議会 江刺区支部活動



講師：野家大氏と江刺区支部の皆さん



江刺区支部では、まごころ病院・理学療法士の野家大氏を講師にお迎えして、腰痛対策の勉強会を開催しました。腰や体のメカニズムを理解したうえで腰痛対策を学ぶというとても分かりやすい内容で、「普段の姿勢では、あぐらより正座の方が腰に良いこと」「ふかふかの布団は不安定なために体の緊張を高めてしまうことや枕も適度な硬さや体に合った高さが大切」「強く柔軟な腹筋と背筋をつけることが大切で、そのために筋力を鍛える体操を行うことが大切」「無理をせず出来る範囲でよいから毎日続けることが大切」等々たくさんポイントを学びました。

愛護会地域福祉推進協議会 金ヶ崎町支部活動



金ヶ崎町支部は、地元企業のトヨタ自動車東日本(株)岩手工場が進めている「環境保護活動森づくり」に協力しています。

氏家富士子支部長が一年の秋から育てたどんぐりの苗木70本を、昨年の初夏に金ヶ崎保育園に寄贈しました。その後は、さくら組の皆さんが中心となり、夏から秋の間にさらに大きく育ててくれました。

10月19日、金ヶ崎保育園のさくら組の皆さんと愛護会地域福祉推進協議会金ヶ崎町支部の会員の皆さんで、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場を訪れました。工場の担当の方々から、工場の概要と森づくりの目的な

どの説明をいただいた後、工場の方々と一緒に植樹の場所へ移動し、大きく育ててほしい苗木を1本ずつ丁寧に植えてきました。

また、平成28年2月6日には、金ヶ崎保育園の行事「おみせやごっこ」にあわせて、金ヶ崎町支部が掲げる活動計画のひとつ「たくましい子を生み育てるための保育事業への協力」の一環として、バザーを開催しました。会員や金ヶ崎保育園職員の皆さんから提供いただいた商品は大変好評で多くの皆様にご利用いただきました。金ヶ崎町支部は、今後も会の目的に沿った活動を進めて参ります。



→ どんぐりの苗木の植樹に参加した金ヶ崎保育園さくら組の皆さんと金ヶ崎町支部の皆さん

→ 多くの皆さんにご利用いただいたバザーの様子

愛護会地域福祉推進協議会 前沢区支部活動



▲ 活動に参加した皆さん

▼ 地区民生委員の皆さんと、前沢区支部会員



前沢区支部は、11月1日スポニチ奥州前沢マラソン大会にあわせ、「各地から参加される選手の皆さんが気持ちよく走る事が出来るように」を目的に、コースの清掃活動を行いました。

これは、地域で企画されたものに、地区の民生委員の皆さんと一緒に参加したものです。

私たちは、前沢スポーツセンターから太郎ヶ沢橋までの約1キロを、民生委員の皆さんと情報交換し、交流を深めながら活動しました。

今後も地域の情報収集に つとめ、色々な活動を進めていきます。

愛護会地域福祉推進協議会 胆沢区支部活動



講師：野家大氏と胆沢区支部の皆さん



胆沢区支部では、支部懇談会の開催に合わせて、胆沢区にある「まごころ病院」の職員の方で、理学療法士の野家大氏をお招きし、腰痛をはじめとした健康に関する研修会を実施しました。

野家氏の講演の後には、多くの質問が寄せられ、参加者らは、日頃の自身の生

活習慣や業務と照らし合わせながら、今後の仕事や生活の中で生かしていく事を確認しました。

当支部ではこれまで支部長としてご尽力を頂いた小野寺幸男様のご勇退を受け、新たに就任頂いた佐々木與市支部長と共に地域に根差した活動を進めます。

愛護会地域福祉推進協議会 衣川区支部活動



▲ 幼保一体化施設あゆみ園の皆さんと、花植えの進め方を確認する佐藤紳夫支部長と高橋ひろ子副支部長



▲ 衣川区保健福祉センター前の花壇整備に参加した皆さん

衣川区支部では、地域の皆様との環境美化活動を中心とした活動を行っています。6月初旬には衣川区の幼保一体化施設・あゆみ園を訪れ、愛護会の福祉サービス事業所・フラワーセンターあいごで栽培・製造された花苗と園芸用土の贈呈と植栽交流活動を行いました。

また、6月下旬には、衣川区保健福祉センターで、多機能型事業所・星空クラブ、奥州市衣川総合支所、奥州市社会福祉協議会衣川支所、障がい者福祉サービス事業所・フラワーステーションあいごの職員と利用者の皆さん、地域住民の皆さんで、花壇の花植え活動を行いました。これらの活動は、地域の次代を担う子どもたちの情操教育、地域の環境美化を目的として、多くの皆さんの協力により毎年実施している活動です。

地域とともに防火活動



▲ 第二東水沢保育園の皆さん



平成27年度、愛護会の保育事業部会、障がい者援護事業部会、障がい者地域生活援助事業部会、長寿福祉事業部会では、地域の皆様の参加協力をお願いしながら数々の防火行事が行われました。

保育事業部会の各園では、

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部、消防団、婦人消防協会、関係団体、地域住民、保護者の皆様の参加協力をいただいで、幼年消防防火パレードを実施し、防火を呼びかけました。また、援護事業部会・地域生活援助事業部会の職員で組織する福祉の森自衛消防隊(中嶋敏之隊長)は、奥州市内唯一の自衛消防隊として奥州市消防出初式に参加・行進し、防火意識の高揚に務めました。



福祉の森
自衛消防隊の皆さん



▲ 東水沢保育園の皆さん



▲ たんぼほ保育園の皆さん



▲ 金ヶ崎保育園の皆さん

